

第二十四回帝國議會
衆議院

東洋拓殖株式會社法案委員會會議錄(筆記)第一回

委員成立

明治四十一年三月十八日議長ノ指名ヲ以テ本委員二十七名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

吉植 庄一郎君	河原林 義雄君	栗塚 省吾君
加藤 政之助君	西村 眞太郎君	佐々木 正藏君
森 肇君	菅原 傳君	野田 卯太郎君
角田 眞平君	岡田 治衛武君	大戸 復三郎君
藻寄 鉄五郎君	永見 寛二君	林 小一郎君
安達 謙藏君	柴 四朗君	小川 平吉君
川原 茂輔君	横井 甚四郎君	麥田 宰三郎君
早速 整爾君	川眞田德三郎君	愛澤 寧堅君
改野 耕三君	武富 時敏君	井上 要君

明治四十一年三月十九日午前十時二十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

吉植 庄一郎君	河原林 義雄君	栗塚 省吾君
加藤 政之助君	西村 眞太郎君	佐々木 正藏君
森 肇君	菅原 傳君	野田 卯太郎君
角田 眞平君	岡田 治衛武君	大戸 復三郎君
藻寄 鉄五郎君	永見 寛二君	林 小一郎君
安達 謙藏君	柴 四朗君	小川 平吉君
川原 茂輔君	横井 甚四郎君	麥田 宰三郎君
早速 整爾君	川眞田德三郎君	愛澤 寧堅君
改野 耕三君	武富 時敏君	井上 要君

年長者河原林義雄君投票管理者トナル

○投票管理者河原林義雄君 是ヨリ委員長理事ノ互選ヲ行ヒマス

○川眞田德三郎君 投票ヲ用井ス改野耕三君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ二名トシ委員長ノ指名ニ任スルコトニ致シタイ

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○投票管理者河原林義雄君 御異議ガナイ様デスカラ川眞田君ノ御發議通り決シマス

(此時投票管理者川眞田德三郎君退席シ改野耕三君委員長長席ニ着ク)

○委員長(改野耕三君) 御推薦ニ依リマシテ不肖ナガラ私が委員長長席ヲ汚シマス、ソレハ理事ヲ井上君小川平吉君安達謙藏君ニ御願ヒ致シマス、尙ホ是ヨリ引續キ會議ヲ開キマス

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 博士水町袈裟六君 法制局長官 博士岡野敬次郎君
大藏省理財局長 勝田 主計君 統監府總務長官 鶴原 定吉君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東洋拓殖株式會社法案

○委員長(改野耕三君) ソレデヤ會ヲ開キマス、先ツ大體ノ説明ヲ一ツ聽イチャ如何デセウ、提出ノ大體ノ……

○政府委員(法學博士水町袈裟六君) 實ハ此主務政府委員ハ少シ遲刻致シテ居リマシテマダ參リマセヌカラ、私カラ御説明シマシテ或ハ不十分ナコトガナイトモ限リマセヌデゴザイマスガ、其方ハ後デ主務ノ人ノ參リマシテ上デ、又補正スルト云フコトニ御承諾ヲ願ヒマシテ、而シテ大體ノ極ク要點デケノ説明ヲ先ツ致シマス、デ、此案ヲ提出致シマスヤウニナリマシタ、大體ノ理由ハ案ヲ御一覽下サイマシテモ、已ニ十分ニ御承知ノコト、想像致シマスノデゴザイマス、物ニ依リマスト餘リ進ンデ説明シナイ方ガ、説明スルヨリモ却テ宜シイト云フ廉モアルト考ヘマス、併シ一言シテ申シマス、詰リ日韓ノ御承知ノ通りノ關係ニ鑑ミマシテ、ドウシテモ此儘ニ致シテ置クト云フ譯ニ參ラヌヤウデゴザイマス、將來ノ國ノ大計ノ上カラ是非トモ……多少國交關係其他ノ事情ニ於キマシテハ、無理ノ廉モゴザイマススケレドモ、特別ノ施設ヲハ斷行スル必要ガアラウト云フコトガ、大體ノ趣旨ニナッテ居リマスノデゴザイマス、是ハ實ハ考案ハ今日始メテ立デマシタモノデゴザイマセヌ、日露戰爭ノ初メ、丁度顧問條約ヲ日韓ノ間ニ結ビマシタ、其當時カラシテ既ニ多少ノ考案ハ立デ、居リマシタノデゴザイマスデ、一時ハ……東印度「コンパニー」ト云フヤウナ、ア、云フモノハ勿論實行ハ出來マセヌケレドモ、アレノ如キ趣旨ニ基イタコロノモノヲバ組織シテ、サウシテ日韓ノ關係ヲ益々密着セシムルト云フ必要ガアラウト云フコトガ、マダ未定ノモノデゴザイマシタケレドモ、略々考案デケハ其當時カラ既ニ存在致シテ居リマシタ、併シ其後滿洲ノ關係其他内外種々ノ關係モ繼續シテ起デ參リマスシ、其實行ニ著手シマスル時機ヲ得ナイデ居リマシタノデゴザイマスガ、丁度辛ニ東洋協會ノ發企デ、略々政府ノ從來カラ持ッテ居リマシタコロノ考ト一致シマスヤウナ建議ガ提出サル、ヤウニナッテ參リマシタ、此機會ニ政府ノ從來ノ考ヲ實行スルヤウニ計畫ヲ立デ、見ヤウト云フコトカラ致シマシテ、漸次攻究ヲ重ネマシテ、御手許ニ上ッテ居リマス通りノ東洋拓殖銀行法案ト云フモノヲ調査サル、ヤウニナリマシタノデゴザイマス、デ此案ノ趣旨ト致シマストコロハ、日本ノ熟練シタ農夫ヲ韓國ノ方ニ穩當ノ方法ヲ以テ漸次移シテ參リマシテ、サウシテ朝鮮ノ礦物又ハ未開ノ地ヲ十分ニ開拓ヲ致シテ、今感シテ居ルトコロノ不便ヲ日韓兩國ノ利益ノためニ開發スル、サウシテ兩國ノ將來ノ繁榮ノ基礎ヲ漸次固クスル、斯ウ云フコトヲ主タル目的ト致シテ居リマス、其事業ノ榮ヘテ參リマスヤウニスルニハ、唯其事ノミト云フ譯ニハ參リマセヌカラ、其附屬ノ事業モ多少加ヘテ居リマスガ、ソレハ寧ろ附屬ノモノデゴザイマシテ、本業ノ繁榮ヲバ期スルためニ、サウ云フモノノ附加ヘテ

置クニ過ギマセヌ、主タル目的ハ農業ヲゴザイマス、即チ土地ノ開拓又ハ農業ノ改良ト云フコトニアリマス。是ニ付キマシテハ統監府ニ於キマシテモ、全ク同一ノ考ヲ以チマシテ、此ノ如キ施設ノ行ハル、コトヲ餘程歡迎スルコトニナツテ居リマス、韓國ニ於キマシテモ勿論異存ノナイコトデゴザイマス、詰リ日韓ノ利益ノタメニ兩國ノ力ヲ合セマシテ、サウシテ此永遠ノ目的ヲ達セシムル基礎ヲ今日ニ於テ立テヤウト云フ次第デゴザイマス、大體ノ趣意ハ略々今申シマス通りデゴザイマス、引續キマシテ又各條各事項ニ付キマシテ御質問ハ、其都度御答辯ヲ致スコトニ致シマス。

○加藤政之助君 唯今ノ御説明デ一通リ分リマシタガ、大體ニ付テハ詳シクセヌデモ此報告ヲ見レバ分ッテ居リマス、ソレデ私ハ此處デチョット質問ヲシテ見タイノハ、資本金ガ千万圓トアリマスガ、是ハ各會社ノヤウニ、ヤハリ四分ノ一ノ拂込デ創立スルコト云フ政府ノ御見込ニナツテ居リマスガ、ソレヲ一ツ承リタイ、ソレカラ此法案ガ通りマスレバ、出來得ル限リノ急速力ヲ以テ之ヲ創立サレデアラウト思フガ、何時頃マデニ政府ガヤラウト云フ見込ヲ持ッテ居ルカ、或ハ八箇年間三十萬圓補給スルコト云フコトニ付テモ、此八箇年タケテ餘計ノトコハ補給セヌデモ宜イト云フ政府ノ御見込ヲ以テ居ルカ、若シサウナラヌトキニ、例ヘバ是ガ利益ノ配當ガナクモ、若クハ二分四分ノ低率デアッデモ、八箇年以後ハ斷然ヤラヌト云フ見込ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、又設立委員ハ政府ガ命ズルト云フコトデアリマスガ、是ハ幾人位命ズル御見込デアルカ、ドウ云フ種類ノ人ヲ採ルト云フ方針ニナツテ居ルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ。

○政府委員(法學博士水町袈裟六君) 御答致シマスルガ、第一ノ拂込ノコトハ御質問ノ御言葉ヲ通りデゴザイマシテ、四分ノ一拂込ト云フ考ニ致シテ居リマス、ソレカラ何時頃マデニ此設立ニ着手スルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、是ハ出來得ル限リ早クシタイト云フ考デ居リマス、案ノ成立致シマシタ上ハ、直チニ其方ニ着手シタイト思ウテ居リマス、ソレカラ補助年限——法律デハ今年トナツテ居ルガ云々ト、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタガ、是ハ唯今ノ計算デハ、六箇年經チマスル補助ハ要シナイヤウニナルト云フ見込デゴザイマス、ソレデ大丈夫、斯ウ云フ見込デゴザイマス、總テ新設會社ハ費用ハ伴フノデゴザイマスガ、斯ウ云フ大キナ事業ノ目的トスル會社デゴザイマスガ、餘程大丈夫ヲ取リマスコトガ必要ト考ヘマシテ、ソレデ計算上ノ見込ハ六箇年デ補助ヲ要シナイコトニナツテ居ルニモ拘ラズ、八箇年間ハ補助ヲスルト云フコトニ致シテ居リマス、ソレカラ設立委員ノコトハ、是ハ略々内輪ニ於テハ見込ハ付ケテ居リマスガ、之ヲ此處デ明言スルマデニハナツテ居リマセヌカラ、其通りニ御承知ヲ願ヒマス。

○加藤政之助君 六箇年後ニハ補助ヲ要シナイヤウニナルト云フ、政府ノ見込デアルト云フコトデアリマスガ、其見込ガ立ツニハ凡ソ斯ウ云フ計算デ、斯ウナルト云フコトガアルニ違ヒナイ、唯漠然六箇年目ニハ補助ヲ要シナイヤウニナルト云フ其根底ガアレバソレヲ伺ヒタイ。

○政府委員(法學博士水町袈裟六君) 其八箇年後ハ補助ヲ要シナイト云フ見込ト申上ゲマシタガ、ソレハ無論見込ノ基礎トナツテ居ル基本ハ持ッテ居リマスガ、大分複雑シテ居リマスガ、此表ヲ印刷シテ諸君ノ御手許ニ差上ゲルコトニ致シマセウ。

○森肇君 私ハ此案ノ大體ニ付テ御質問ヲシテ見タイト思フ、此案ノ提出ノ理由ハ

唯今政府委員カラ御述べニナリマシテ、能ク了解ヲ致シマシタ、大體ノ趣意ニ於テハ本員等ハ最モ贊成ノ意ヲ表スル者デゴザイマス、ト云フノハ、此韓國ノ土地ヲ開發シテ、サウシテ富源ヲ開發スルコト、及日韓人ノ親和ヲ圖ルト云フ目的アルコトアレバ、吾々ハ最モ之ニ贊成スルノデアル、此位歡迎スルコトコロノモノ、此重要ナル案ヲ會期切迫ノ今日ニ至リ、突然御提出ニナツタト云フコトハドウ云フ譯デゴザイマセウカ、政府ガ若シ斯ウ云フ考案ガアルナラバ、宜シク十分ナル準備ヲ遂ゲテ成ルベク迅速ニ御提出ニナルベキ譯デハナカッタラウト思フ、然ルニ此會期切迫ノ今日ニ突然提出スルニ至リシ事情ガアレバ、此事ヲ第一ニ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニ伺ヒタイノハ、此法文ヲ讀ミテ見マスルト、第九條ニ總裁ハ日本人トシテ政府ノヲ命ズルト、ソレカラ副總裁ハ一人ハ日本人トス、一人ハ韓國人トス、ト云フコトガアリマス、其任命ノコトニ付テハ、次ノ事項ニ副總裁及理事ニ日本人ハ日本政府ガ之ヲ命ジ、韓人ハ韓國政府ガ之ヲ命ズルトニナツテ居リマスガ、果シテサウ致シマスルト、韓國政府ハ此法案ヲ歡迎ヲシテ居ルノデアルカ、若クハ是ト同一ノ法律ヲ韓國政府ハ作ッテ居ルノデアルカ、若クハ何カソレニ付テハ既ニ交渉ヲ遂ゲラレテ、韓國政府ガ之ニ確カニ同意ヲスルト云フ御認メニナツテ居ル事柄ガアルノデゴザイマセウカ、若シサウ云フ事實ガナイト致シマスルト、是ハ一ノ空文ニ歸スルコトデ、甚ダ此案ノ全體ニ付テモ私ハ鈞合ガ取レヌコトニナリハセヌカト云フ心配ヲ抱イテ居リマス、又韓國政府ニシテモ、韓國人民ハ此會社ノ成立ト云フコトニ付テ、本員等ガ希望スルガ如キ果シテ歡迎ノ意思ヲ持ッテ居ルモノデアルカ、又韓國政府ノ交渉ハ十分遂ゲラレテ之ヲ政府ハ確認シテ此案ヲ御提出ニナツタモノデアリマセウカ、其邊ノコトヲ承リタイ、ソレカラ第三ニ此案ノ如キ官設ノ會社ヲ設置致シマスル場合ニハ、個人的ニ此韓國ノ土地ヲ開發スルコトコロノモノヲ阻碍スルノ虞レガアリマセウカ、若クハ今日マデニ立ッテ居ルトコロノ成立會社ト云フモノハ營業ニ大ナル影響ヲ及ボシハシナイカ、若シソレ等ノ會社ト此官設ニナル此案ノ會社ト、後來競争ヲシテ盛ニシ事業ヲヤッテ行クト云フ御決心デアリマスガ、其邊ニ對シテ政府ノ御意向ハドウ云フモノデアリマセウカ、此三點ヲ伺ヒマス。

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 此重ナル法案ヲ會期切迫ノ折ニ提出シタ理由如何ト、何ゼ早ク出サヌカト云フ御尋ノヤウデアリマス、是ハ大體此會社ノ目的ニ於テ御承知ノ通り極メテ重要ナル法案デアリマシテ、當ニ日韓兩國ノ關係ノミナラズ、日本人並ニ韓國人ノ間ニ於テモ利害ノ關係ガ頗ル大ナルモノデアリマシテ、法律上ノ問題ト致シマシテモ、又經濟上ノ問題ト致シマシテモ、又政略上ノ問題ト致シマシテモ、孰レノ方面カラ觀察致シマシテモ、内容ニ於テ極メテ重要ナルモノデアルト云フコトハ疑ナインデアアルノデアリマス、此ノ如キ重要ナル法案デアリマスガ、議會ニ提出スルニ至ル迄ノ間ニハ、鄭重ニ慎重ニ審查ヲ致シマシタノデアリマシテ、其審查ノタメニ尠カラザル時期ヲ要シタノデアリマス、固ヨリ此案ガ早ク確定致シマスレバ、勿論議會ニ早ク提出スベキガ當然デアリマスガ、唯今申上ゲマシタ通りノ事情デ、調査ニ非常ニ時ヲ要シタガタメニ、遺憾ナガラ早ク提出スルニ至ラナカッタ次第デアリマス、第二ニ本案ノ第九條ヲ引イテ御質問デアリマスガ、是ハ定メシ他ノ政府委員ヨリ説明ヲ致シタト信ジマスガ、元來此會社設置ノ目的ト云フノハ、韓國ニ於ケル農事改良、韓國ニ於テ主トシテ農業者ニ對スル此資金ヲ融通スルト云フコトガ一ノ大ナル目的ニナツテ居ルノデアリマシテ、此會社

ノ目的ヲ將來ニ確實ナラシメントスレバ、ドウシテモ此日本ノ一方面ニ於テノミ、日本人ノミノ利益ヲ圖ルト云フ譯ニハイカヌノデアリマスカラ、ドコマデモ日韓兩國並ニ日韓兩國ノ共同ノ經營ニ係ルト云フコトノ形ヲ具ヘネバナラズ、又實モ具ヘネバナラヌノデアリマスカラ、サウ云フ主義ヲ以テ立案ヲ致シタルデアリマスカラ、自ラ第九條ノミデハアリマセヌ、第九條以外ニ於テモ尙此韓國ノ共同ノ事業デアルト云フコトが現ハレテ居ルノデアリマス、從テ唯今御質問ニナツタ副總裁ノコトデアリマスガ、副總裁モ政府ガ任命スルト云フコトニナルノデアリマスカラ、我法律ニ於テ唯政府ガ之ヲ任命スルト云フコトニ致シテ居リマス云フコト、勢ヒ此韓國政府ガ之ヲ命スルト云フコトハ、我法律ニ違反スルト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、ソコデ此ノ如ク韓國政府ガ之ヲ命スルト云フコトヲ、特ニ法律ノ中ニ明カニ掲ゲタルデアリマス、尙是ト同様ノ趣意ニ基クトコロノ規定ハ、韓國ノ監理官ノコト、ソレカラ設立員ノコト、共ニ同一ノ趣意ニ依テ韓國政府ガ命スルト云フコトノ明文ヲ掲ゲタルデアリマス、此事ニ付テハ政府ノ見ルトコロハ、固ヨリ韓國ニ於テ之ヲ歡迎スルノデアリマス、必ズ統監ガ日本政府ヲ代表シテ韓國ニ居ラレ以上ハ、必ズ此目的ノ達セラレルト云フコトハ疑ハヌノデアリマス、ソレカラ第三ノ點ハ是ハ韓國ノ事情ヲ詳シク私ハ承知致シマセヌケレドモ、既ニ此會社ヲ設立スルト云フコトノ目的ハ、實ニ私設ノ會社ニ一任スベキモノデナイ、自ラ此國家ノ内容ヲ有スル以上ハ、此大目ノ達スルニ於テハ、或ハ自然他ノ會社ト競争スルトカ云フヤウナ結果ニ至ルカモ知レヌノデアリマス、併ナガラ是ハ固ヨリ此會社ヲシテ他ノ私立ノ會社ト競争セシメ、又私立ノ會社ノ業務ヲ奪フガ宜イト云フ意味合ヲ以テ提出シタル譯デハナイノデアリマシテ、自然此會社ガ愈々業務ヲ開始スル場合ニ他ノ同様ノ或目的ヲ有スルトコロノ會社ガ、自然幾分其業務ヲ失フニ至ルト云フコトハ、或ハアルカモ知レヌノデアリマス、併ナガラ私ノ窃ニ聞クトコロニ依レバ、愈々此會社ガ設立セラレ、ニ至レバ、現在韓國ニ二ツカ私設會社ガアルヤウデアリマスガ、是ハ目的ガ同一デアル以上ハ解散ヲシテモ宜イト云フヤウナ意嚮ノヤウニ私ハ聞イテ居リマスノデアリマスガ、是ハ決シテ此法律案ノ目的デハナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森肇君 唯今ノ答辯デ略シ了解致シマシタガ、第二ニ御尋致シマシタ點ハ、韓國政府モヤハリ歡迎シテ居ルノデアアルト云フコトデゴザイマスガ、韓國ニ於テモ法律ヲ作ルノデスカ、若クハ作テ居ルノデアリマスカ、是カラ作ラスト云フ御交渉ニデモナツテ居ルノデアリマスカ、唯日本ノ法律ニ於テノミ此ノ如ク規定シテモ、韓國政府ガ法律ヲ作ラズ、若クハ韓國政府ガ副總裁ヲ任命セナイト云フ場合ニハ、此法文ガ空文ニナリハセヌカト云フ杞憂ガアリマス、ソレカラ本案ノ目的ハ第一條ニ認メタル通りノ、韓國ニ於ケルトコロノ拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスルト云フノデアリマスガ、其目的ノ中ニハ日本ノ經驗アル農民ヲ韓國ニ移住セシメテ、サウシテ此農事ノ改良獎勵ヲナスト云フ目的ガ、此法案ノ中ニ包含シテ居ラヌノデアリマスカ否ヤ、ト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 韓國ニ於テ同様ノ法律ヲ發布スルニ至ルカドウカ、是ハ今日ニ於テ見ルトコロヲ申上ゲマスレバ、韓國ニ於テヤハリ法律ヲ出スト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、ソレカラ目的ノコト、即チ拓殖ハ如何ナルコトヲ言フノデアアルカト云フコトハ、是ハ申スマデモナク、法律上一定ノ意義ガアル譯デハナイノデアリマス、

故ニ此法案第三章ニ營業ト云フコトヲ掲ゲテ即チ一條カラ十一條及十二條ヲ以テ、大凡此會社ノ主トシテ營業マントスルトコロノ業務カ掲ゲタルデアリマス、其中ニ付キマシテ先刻モ申上ゲタ通り、韓國ノ農業者ニ對シテモ、ヤハリ利益ヲ與ヘルノデアリマスケレドモ、此十一條ノ第五號、六號、七號、八號、ソレカラ十三條中ノ一號乃至四號等ハ、或ハ此韓國ニ於テ一ノ地方カラ他ノ地方ニ移住スルトコロノ者、ソレカラ日本ヨリ韓國ニ移住シテ、即チ農業ニ從事スルトコロノ者、兩方併セテ法律ニ定メタル如キ事業ヲ經營スル積リデアリマスカラ、無論唯韓國ニ於ケル農業者ノミニ對シテ利益ヲ與ヘルノデアリマセヌ、會社ハ此農業ニ必要ナル土地ヲ、韓國土地所有者ノ同意ヲ得テ之ヲ買収シマシタ場合ニハ、此土地ノ耕作ニ必要ナル人間ハ、日本ヨリモ移住セシメル、又其移住シタルトコロノ者ニ對シテハ、會社ヨリ相當ノ保護ヲ與ヘルト云フ考デアアルノデアリマス

○吉植庄一郎君 大體ノ趣意ニ付テハ政府委員ノ意見ヲ伺ヒマス、韓國ニ於ケル拓殖事業ヲ進メルタメニ此ノ如キ發案ノアツタコトハ、大體ニ於テ本員ハ頗ル之ヲ喜ブ、併ナガラ國ノ拓殖ノ進メル方法手段シテ、此ノ如キ複雜ナル方法ヲ施スガ適當ナリヤ否ヤト云フコトハ、頗ル考慮ヲ要スベキ是ハ大問題デアル、單純ニ是ハ思付キ仕事ヤルベキ問題デハナイト私ハ確信スルノデアリマス、成程先刻大藏次官ノ説明ニハ或ハ東印度「コンパニー」ノヤウニ類シタモノヲ拵ヘテ見タラドウカ云々ト云フヤウナコトガ、説明中ニモ見エマシタガ、凡ソ此韓國ノ如キ狀態ノ國柄ニ何故ニ拓殖ノ政策ヲ行ヒ、是ニ伴フ機關ヲ備ヘルト云フコトニ付テハナカク、單純ノ問題デナイト考ヘテ居リマス、此法ノ大體ヲ通覽致シマスルト、農業、土地ノ賣買、貸借、土地ノ經營、管理、建築物ノ築造、移住民ノ補充分配、其他云々ト云フ九箇條ノ項目ヲ擧ゲ、更ニ水産工業其他ノ二三ノ事項マデモ營業トシテ爲シ得ルヤウニナツテ居リマス、此總テヲ包含シタル一ツノ大會社或意義カラ申シマスルト朝鮮ニ於ケル仕事ハ此會社以外ニ何等ノ仕事ガアルカト反問セザルヲ得ナイト思フ程、殆ド是等ノ事業ヲ網羅シテ之ヲ一會社ノ手ニ委ネルト云フ計畫デアル、即チ精神ニ於テハ本員等ハ之ヲ東印度會社ノ仕組ヲ殆ド眞似タモノト認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ未開ノ地ニ入ッテ或ハ番人ノ巢窟ニ入ッテ一國ガ拓殖シ、政策ヲ施シ、而シテ之ニ伴フ機關ヲ設ケルト云フ場合ニハ、萬屋主義ノ仕事ト會社ノ仕事ト混同シテ何カ半官半民ノ組織ニシテ全部ノ仕事ヲ統轄シテ往クト云フ必要ハアルノデアリマス、併ナガラ韓國ノ如キ狀態ノ國柄ニ臨ムニ當リマシテ、政府以外ノ一日本ノ統監府及日本ノ政府トノ關係以外ニ、又一ノ獨立ノ大ナル會社ヲ拵ヘテ、此者ニ有ラユル利權ヲ委ネテ、其利權ノ全部ヲ殆ド任セルト云フガ如キ組織ヲ提供スルコトガ、適當ナリヤ否ヤト云フコトハ非常ニ之ハ考慮ヲ要セナケレバナラヌ、テ隨分斯ウ云フ組織ノ會社ノコトハ當ル方面バカリ考ヘナイデ、外レル方面モ能ク考ヘテ見ナケレバナラヌト私ハ思フ、先刻政府委員ハ此會期切迫ノ今日ニ何故ニ之ヲ出シタカト云フ委員中ノ質問ニ御答ニナルノニハ、非常ニ政府ニ於テモ慎重ニ考慮ヲ要シタガタメニ、後レタト申スノデアリマスガ、此案ハ一私立會社ノ案ニ過ギナイノデアリマスカラ、其關係スルトコロハ本年政府ガ提出シタル諸案中ニ於テ、將來東洋ノ利害ニ大關係ヲ及ボスベキ重大ナ案デアリマス、此案ヲ會期切迫一日二日間ニ御出シニナツタト云フコトニ付テハ一層ノ尙親切

ナル御説明ガナイト、是ハ朝鮮ニ對スル根本主義ニ於テノ議論カラ是ハ割出ストコロノ法案ナケレバナラヌデアデ、朝鮮經營ト云フモノノ問題トハ密接ノ關係ヲ有ツ法案ト私ハ認メルデアリマス、此點ニ付テ此會期ノ切迫シタ場合マデトシテナ點ノ政府ガ根本ノ主張ニ於テドウ云フ主義ヲ執ツテ、斯ウ云フ法案ヲ組立テタデアリマス、モウ少シ詳明ナル答辯ガアリマセヌケレバ、單ニ大切ノ問題ダカラ暇ヲ取ツタト云フダケノコトデハ本員等ハ満足スルコトガ出來ナイ、從テ甚ダ趣意ノアルコロヲ知ルニ苦シムデアルカラ、其點ヲ明白ニ御答辯ヲ願ヒタイ是ガ第一デアリマス、ソレカラ第二ニハ此ノ如キ複雑ノ各種ノ事業ヲ一ノ會社デヤルト云フヤウナコトハ、先刻モ申ス通り未開ノ地ニ於テ國民ノ一部或事業家ガ殆ド進んで手ヲ下スモノハナイ、已ムヲ得ズシテ政府ガ其國帑ヲ投シ若クハ資本家ヲ誘導シテ八百屋主義ニヤラセル床屋モ湯屋ヲ拵ヘテヤルト云フヤウニ世話ヲ燒カケレバ出來ナイト云フ狀態ノ下ニ於テ、已ムヲ得ザルニ出デルトデアリマシテ、此朝鮮ニ於ケル狀態ハ、一ノ會社ヲ殆ド移住民ノ世話焼マデモスル、運送ノ仕事カラ物品ノ調製獸畜ノ供給、建築材料ノ供給カラ、有リトアラユル業ヲ此一ノ會社ニ與ヘテ、而シテ之ニ補助ノ利子ヲ與ヘルト云フ風ニナリマス、詰リ日本及韓國ノ人民ノ中ニ於テ、同一ナル業務ヲ將來營マントスルモノ、アツダ場合ニハ、到底政府ガ補助シテ補給利子ヲ貰フテ有ラユル人オヲ之ニ網羅シテ、而シテ仕事ヲスルモノト個人ノ事業ト云フモノガ競争スル餘地ガ何處ニアリマス、凡ソ韓國ノ拓殖ヲ進メルト云フ大目的ニ於テ、本員等ハ少シモ此ノ如キ或一種ノ會社ヲ作ルコトヲ拒ムモノデハナイ、喜ブモノデアルケレドモ、既ニ韓國ニハ或程度マデハ分業ガ行ハレテ居ルデアラウト思フ、或行ケル、或程度マデ資本ヲ供給サレテ居ルデアリマス、或程度マデハ各種ノ機關モ——農工商ノ機關モ備ハリ、又將ニ設ケラレテ發達シテ居ル狀態ノ國柄ト認メマス、斯ウ云フ所ニ或一ノ私立會社ノ「カブラリス」的ノ非常ナ特權ヲ與ヘテ、各種ノ業務ヲ總テヤラセルト云フコトニナッテ來マス、此會社ハ殆ド朝鮮ノ利權ノ全部ヲ壟斷スルモノデアルト云フコトニナルデアリマス、是モ誰モ會社ヲ設ケルコトニハ議論ハナイデアリマス、此ノ如キコトガ眞ニ日本ノ事業家、日本ノ資本家、斯ウ云フモノガ將來朝鮮——韓國ニ於テ事業ノ經營ヲナシ獨立シタル經營ヲナスト云フコトハ、此自然ノ發達自然ノ趨勢ト云フモノヲ却テ妨ケル憂ヘナイカ、若シ會社トシテ此ノ如キ複雜ナルモノヲ拵ヘナケレバ、營業ガ成立タヌト云フ御見込カラヤッタデアリマス、或ハ席上ニ於テコナコトヲヤッタ宜カラウト云フ考カラ仕出シタデアルカ、是等ノ民業ト將來永ク關係セキ大問題ヲ各種類ヲ骨董屋ノ店舖ノヤウニ並ベテサウシテ行クト云フコトガ、果シテドウ云フ御趣意カラ出タノデアリマス、本員等ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、分業ノ既ニ或程度マデ行ハレテ居ル、有ユル機關モ一通リ幼稚ナガラモ從來モ致シテ居リマス、又現在ニ成立タタモノモアルト信ジマス土地ニ、此ノ如キ大キナル會社ヲ拵エナケレバ、各種ノ產業ニ向テ此根本ノ中堅トナッテ——中心トナッテ日本及朝鮮ノ農工商ノ各業ニ——商ハ含シテ居ラヌデスガ、先ヅ主モニ農業其他ノ事業ニ向テ資金ヲ供給スル、或ハ此事業ノ擴張ヲ助ケル、直接ニ自分デ田ヲ作ツタリ畑ヲ拵ヘタリ、移住民ノ分配募集マデスルト云フヤウナ煩鎖ナコトハ、ソレハ根本サヘ立デバソレニ伴フ補助ノ機關ト云フモノハ、日本及朝鮮ノ事業家ニ於テ澤山企テラル、之ヲ一手專賣デ何事モ此會社ノ手デ仕事ヲスルコトハ、即チ

此會社ノ以外ニ日本人朝鮮人ノスル事業ハ無クナルデアラウト思ヒマス、此ノ如キコトヲシナケレバ會社ハ成立テ往カヌト云フ御見込デアリマス、會社ノ計算上カラ已ムヲ得ズ斯様ナモノヲ御集メニナツデアルカ、或ハサウデナクシテヤッタ方ガ宜カラウト云フ位ノ考カラ、營業ノ表目ヲ澤山列ベタデアリマス、是ハ餘程此案ヲ審議致シテ往ク上ニ付テ根本ノ問題ニナルト認メテ居リマス、此點ニ付テ政府ノ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ第三ニハ拓殖ノタメニ必要ナル土地ノ賣買ヲスルト云フコトデスガ、朝鮮ニ於テ土地ノ賣買ト云フコトハ、今日朝鮮ノ法律ハ認メテ居リマス否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、此賣買ト云フコトガ勿論是ハ日韓人ガ共同スルヤウナ風ニナッテ居リマス、會社其モノハ法人トシテ此ノ如ク特ニ日本人ニアラズ朝鮮人ニアラザル一ツノ間ノ子デ韓國ノ法律デ土地ノ賣買ヲ外國人ニ許シテ居ナイト云フコトニ記憶シテ居リマス、此會社ハ如何ナル手續方法ニ依テ賣買ヲ爲シ得ルデアリマス、之ヲ聽キタイ之ガ第二デアリマス、ソレカラ此債券ノコトニ付テ質問致シマス、此會社ハ先ヅ一面ニハ拓殖銀行ノヤウナ風ノ性質ノモノデアル、又一面ニ於テハ農業會社ノヤウナモノデアル、一面ニハ周旋會社ノヤウナモノデア、各種ノ種類ヲ包含シタ會社デアリマス、一様ニハ言ハレマイト思ヒマス、資本金ニ對スル十倍ノ債券デアリマス、是ハ農工銀行若クハ勸業銀行若クハ北海道拓殖銀行トカ云フヤウナモノハ、抵當貸付ヲ爲シ得ル其擔保トスルモノニ對スル債券ト云フヤウニ、農工、勸業、拓殖銀行ナドノ法案ハ出來テ居ルデアリマス、此債券ハイロノナ業務ニ分レテ居リマス、一體債券ハ擔保ト云フコトノ性質ヲ少シモ持タナイ、十倍ノ債券ハ一種ノ擔保ノ意味ハ何ニモ求メナイデ御發行ニナッテ居ルヤウニナッテ居ルデアリマス、此點ヲ御伺シテ置キタイ、ソレカラモ一ツ是ハ名義ノコトデアリマス、ドウデモ宜カラウト思ヒマス、ドウモ東洋拓殖會社ト云フコトヲ言ヒマス、非常ニ大キナモノデ、民間ノ會社デハ「オリエンタル」ト言ハウト何ト言ハウト勝手ノコトデアリマセウガ、苟モ法律デ帝國議會ノ協賛ヲ經テ出ベキモノニ對シテ、餘リ名實ノ適ハナイコケ威シテ名前カリガ大き過ぎテハ如何デアルカ、東洋ト殊更ニシタノハドウ云フ譯デアルカ、ナゼ朝鮮ト云フヤウニ明白ニシナカッタデアリマス、但シ朝鮮以外ニ手ヲ伸バシテ東洋ノ各方面ニ手ヲ擴ゲテヤッタ往カウト云フ思召デアリマス、是ハ名稱デアリマス、何レデモ宜カラウト思ヒマス、其點モ伺ッテ置キマス

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 大分御質問ノ點モ多イデアリマシテ、私ハ御質問ノ趣意ハ了解シタ積リデゴザイマス、御答辯ヲ致シマスガ若シ足ザル所ガアリマシタラバ、或ハ誤解シテ居タコロガアリマシタラバ更ニ御質問ヲ願ヒタイ、第一ノ點ニ付キマシテハ先刻モ御答ヲ致シマシタ通り、此議會ニ提出スルノガ會期切迫ノ折柄デアルノニ、ドウ云フ理由デアルカト云フコトニ付イテハ既ニ申上ゲマシタ通りノコトデアリマシテ、即チ調査ノタメニ頗ル時ヲ要シタデアリマス、唯今ノ吉植サンノ御質問中ニアル如ク、極メテ重要ナル法案デアルデアリマス、隨テ又慎重ノ審議ヲ要スルヤウナ次第デアリマシテ、唯一時ノ思付キデ此法律案ヲ出シタト云フ次第デナイコトハ御了承ヲ願ヒタイと思ヒマス、而シテ此會社ノ目的如何ト云フコトハ是ハ、此法案以外ニハナイデアリマス、法案ヲ御一覽下サレバ此會社ハ如何ナル計畫ノ下ニ此事業ヲ經營スルデアルカト云フコトハ了解ニナルト思ヒマス、ソレカラ第二ノ此會社ノ目的トスルトコ

ロノ事業ハ極メテ複雑ナル、此ノ如キ複雑ナル事業ヲ此會社ニヤラサネバナラヌカドウカ、又殆ド韓國ノ利權ヲ此會社ノ一手ニ占有シテ、他日資本家ガアッテ均シク韓國ノ拓殖ノ目的トシテ事業ヲ經營スル場合ニハ、大ニ妨ゲニナリハセヌカドウカト云フコトガ第二ノ御質問ノ要旨デアッタト存シマスルデ、此會社ノ事業ノ複雜ナルト云フコトノ例トシテ、此第十一條ニ掲ゲテアリマスルコロノ業務ヲ列舉シテ御質問ニ答フコトノ例トシテ、取敢ズ其點ニ付テ此第十一條ノ趣意ヲ御話スルノガ簡便デアラウト考ヘマスル、先刻モ述ベマシタ通り、此會社ハ韓國ニ於テ土地ヲ買ヒマシテサウシテ此土地ノ農業ノタメニ要スルコロノ日本人ヲ韓國ニ移住セシムルコト云フコトガ、一ツノ大ナル目的ニナッテ居ルデアリマス、此目的ヲ達シマスルニ付テハ、詰リ日本ヨリ韓國ニ移住スル者ノタメニイロ／＼ノ便宜ヲ與ヘルノ必要ガアルデアリマス、即チ移住民ヲ募集シテ之ヲ韓國ニ移ス、其移住民ガ韓國ニ到ッテ移住シテ農業ヲ營ム、其農業ヲ營ンダコトノ結果ヲ生ズルコロノ生産物モ、亦之ガ分配ノ方法モヤハリ均シク此會社ガ世話ヲセネバ、完全ニ其目的ヲ達セラレナイコトニナルデアリマス、デ此第十一條ニ掲ゲテアリマスルコロノ移住民ノ分配、其他此移住民ニ對シテ、或ハ事業用ノ原料ヲ供給スルコトカ、或ハ生産物ヲ賣買シテヤル、或ハ運送シテヤル、或ハ貯藏シテ置クト云フコトハ、皆同ジ目的カラ出デ居ルデアリマス、即チ日本カラ向フニ移住スルモノヲシテ能ク其移住ノ目的ヲ達セシムルニ於テ、會社ガ是ダケノ業務ヲ營ムノ必要アリト認メテアリマス、大體ノ計畫ノコトハ私ハ後レテ參リマシタガ、定メシ他ノ政府委員ヨリ御話致シタラウト思ヒマスガ、御承知ノ通りニ此會社ハ一面ニアッテハ、此一千萬圓ノ資本ノ四分ノ一ノ拂込ヲ爲サシメテ、即チ此處ニ資金ヲ得ルデアリマス、他ノ一方ニ於キマシテハ、此債券ヲ募集スルデアリマス、拂込資本額ノ十倍マデハ、債券ヲ發行スルコトガ出來ルト定メテアリマス、デ、會社ガ此農業ヲ經營スルニ於テハ、此拂込資本額ノ千萬圓ノ四分ノ一ノ二百五十萬圓デ、即チ會社自カラ農業ヲ經營シテ、即チ土地ヲ獲テ之ヲ耕作シテ、サウシテ此會社自カラ農業ヲ營ムノ資本ニ供スルデアリマス、ソレカラ債券ノ方ハ、債券ニ依ッテ得ルコロノ其資金ト云フモノハ、是ハ他ノ目的ノ即チ此日本カラ移住スルコロノ者ニ對シテ、移住費ヲ貸與ヘタルコト云フ方ニ主トシテ向ケルトコロノ金デアリマス、デサウ云フ詰リ計畫デアリマス、即チ第十一條ニ於テモ拓殖ノタメニ必要ナル土地ヲ經營シテ、拓殖ニ必要ナル土地ヲ賣買スルコト云フヤウナコトモ、等シク之ヲ會社ノ業務トシテ兼ネル必要アリト認メテアリマス、ソレカラ尙此會社ノ主ナル目的ト致シマシテハ、此第十一條ニ掲ゲタルコロノ農業並ニ農産物ノ分配ニ關スルコトガ主ナル目的デアリマス、サウシテ此第十二條ニ掲ゲタルコロノモノハ、附帶事業デアルデアリマス、デ是ハ此會社ノ主ナル營業トシテ認メテアリマセヌ、先ヅ此會社設立ノ後ニ於テ、第一著ニ手ヲ着ケベキモノハ、即チ農業デアリマシテ、他日必要ナリト認メ相當ノ機會ヲ得タ時分ニ於テ、初メテ附帶事業トシテ水産業工業等ヲ營ムコトニナルデアリマス、初メカラ此業務ヲ併セテ營ムト云フノハナイデアリマス、デ此會社ガ設立サレタナラバ、韓國ニ於テ農業ノ振作ヲ目的トスルコロノ事業トシテ此後ノ經營スルモノハ一ツトシテアルマイト、斯ウ斷言スルノハ此會社ノ目的ニ私ハ適ハナイト思フデアリマス、是ハ成程全ク同一ノ目的ヲ以テ同様ナ會社ヲ計畫スル者ガアッタナラバ是ハ

此會社ニアッテハ勿論保護モアリマスルガ、他ノ會社モ同様ノ保護ヲ受ケルコトハ出來ヌト思ヒマス、即チソレハ拒絕スルコトニナリマセウガ、併ナガラ既ニ唯今述ベマシタ通りニ總テノ利權ヲ此會社ニ集メテシマフト云フコトハナイデアリマス、決シテ他ノ後ニ資本ヲ投ズルモノト、全ク是ト衝突シテシマフト云フコトノ結果ニハナルマイト思フデアリマス、ソレカラ第二ノ土地ノ賣買ノコトデゴザイマスガ、是ハ御承知ノ如ク現行法ノ下ニ於テハ、韓國ニ於テ外人ニ土地所有權ヲ許シテ居ラヌデアリマス、併ナガラ韓國ノ事實ノ上カラ論ジマシタナラバ、是ハ公然ト土地所有者ト云フコトハ、條約違反、法律違反デアルト云フコトハ、是ハ言ハレル、正面カラ論ジマシタナラバ、併ナガラ現在韓國ニ於ケルトコロノ狀況如何ト云フコトヲ顧ミマシタナラバ、既ニ御承知ノ如ク政府モ日本ノ陸海軍ノ用地トシテ韓國ノ土地ヲ所有シテ居ルデアリマス、又日本人ハ一個人トシテ韓國ニアルコロノ者ハ、或ハ資金ヲ供給シテ事實土地ノ所有權ヲ得テ居ルト云フ實況デアリマス、唯日本ノ方面カラ之ヲ見デ條約ノ正文、法律ノ正文ノミヲ楯トシテ遠慮ヲスルト云フコトノ必要ハナカラウト思フデアリマス、而シテ公然ト其土地ノ所有權ヲ外國人ニ讓ルコトニ付キマシテハ、今日政府ト朝鮮ト間ニ於テ攻究中デアルデアリマシテ、イヅレ必ラズ公然法律上土地ノ所有權ヲ得ルコトニ至ルコトハ疑ナイト申シテ宜カラウト思フ、尤モ我韓國ニ對スル政策ノ上カラ論ジマシタナラバ、若シ法律ノタメニ土地ノ所有權ヲ得ルコトガ出來ヌトナリマシタナラバ、是ハ無論韓國ノ拓殖ガ出來ヌデ、韓國ニ對スル政策ノ上カラ私ハ甚ダ不可ナルコトデアルト信ジマス、故ニ土地ノ所有權ヲ得ルノ途ヲ得ルト云フコトハ、唯此會社ノ目的バカリデハナク、日韓兩國關係ニ於テ必要デアルト信ジマス、是ハ必ズ其目的ヲ達スルコトニ至ルコトヲ確信シテ居リマス、ソレカラ第四點トシテハ債券ノコトデアリマスガ、是ハ社債ヲ發行致シマスルノハ、既ニ第二十三條ニ於テ拂込資本ノ十倍ダケハ既ニ發行權ガ之ニ依ッテ附ケラレテ居ルデアリマシテ、又第二十七條ノ債券所有者ハ、他ノ債權ニ先チ自己ノ債權ノ辨償ヲ受クルノ權利ヲ有スルコトニナッテ居リマシテ、從ッテ此債權者ノ權利ヲ保護スルノハ、之ヲ以テ足レリト信ズルデアリマス、ソレカラ第五點トシテ名稱ノ御尋デアリマシタガ、是ハ唯敢テ大キクシテ置クガ宜イト云フヤウナ意味合カラ然レシト云フコトニ認メテ譯デハナイデアリマスガ、併ナガラドウモ他ノ國ノ名ヲ取ッテ、之ヲ我法律ニ定メルトコロノ會社ノ名稱ニ附スルト云フコトモ餘リ穩當アルマイカト思フデアリマス、敢テ此名稱デナケレバナラヌト云フ目的ハナイデアリマス、此東洋拓殖ト云フ文字ハ別ニ外ニ認メタコトハナカッタデアリマス、而シテ此東洋ト云フ文字ヲ選ンダノハ、韓國以外即チ東洋全般ノ拓殖ヲ目的トシタカノ如キ御疑ノアルヤウデアリマスガ、是ハ第一條ニ示シテアリマスルガ、韓國ノ拓殖ヲ營ムヲ以テ目的トスルト云フノデ、韓國以外ニ於テ業務ヲ擴張スルト云フコトヲ此法律デ認メテ居ルデアリマセヌ

○小川平吉君 私ハ先刻質問シヤウト思ッテ居タツデアリマスガ、實ハ此大體ノ趣意ニ於テハ、政府委員ノ説明モアリマシタシ、又御説明ガナクモ、今日ノ場合ニ於テ又韓國ニ吾農民ヲ移住セシメ、韓國ノ農業ニ從事セシメテ韓國ノ富源ヲ拓キ、又日韓兩國國民相互間ノ密接ヲ圖ルト云フコトハ無論今日ノ急務デアル、而シテ之ヲ行フニ付テ此東洋拓殖會社ト云フ如キ會社ヲ設立ヲ必要トスルト云フコトモ、亦何人モ異議ガナイ

コトデアラウト考へル、勿論私ノ如キモ熱心此ノ如キ會社ヲ一日モ速ク設立セラル、コトヲ望ムノデアリマス、今日段々伺フコトコロガ、ヤハリ諸君ノ中ニモ大體ニ於テハ皆御贊成デアラウニ見エ、此趣意ニ於テハ、ノミナラズ更ニ進メテコソナニ遅ク議案ヲ出サレタカト云フ御質問モアッタ次第デアリマス、既ニ大體ノ趣意ニ於テハ此ノ如キ御異論ガナイト云フ以上ハ、最早各條ニ這入テ質問スル若クハ討論スルコト云フコトニ致シマスレバ、ドウデアラウト考へル、既ニ是マデ質問ノ中ニモ大體ノ質問ト申シナガラ、法律案ノ規定ノ方法ニ付テノ質問ガ澤山アリマスヤウデアリマス、大抵ハ各條ノ質問トモ謂フベキコトヲヤッテ居ル、大體ノ質問デモ良イガ、先刻森君ノ質問ノ如キハ、唯今申シマシタ如ク、大體ノ質問トスルヨリモ各條ニ這入ッテスル方ガ宜イト思フ、故ニ本會ハ直チニ各條ニ付テ質問ニ移リタイト思ヒマス

○委員長(改野耕三君) 如何デゴザイマセウ、各條ニ這入ッテハ

○麥田宰三郎君 先刻森君ヨリ第二點トシテ御尋ニナッタコトハ、尙確カメテ置キタイノデアリマスガ、本案ハ韓國ト共同事業デアッテ、韓國ト同一轍ニナランケレバナラヌ、サウスルト韓國政府ハドウ云フコトニナッテ居ルカト云フ尋ニ對シ、韓國政府ハ多分同意スルモノト信ジテ居ル、疑ハヌト云フ位ナコトデハ甚ダ不安心デアル、最モ伊藤統監ガ韓國ヲ代表シテ云々ト言ハレタガ、伊藤統監ハ韓國ヲ代表シテ確カニ此事ハ日本デ——此帝國議會デ決議シタナラバ、此事ハ確カニ行ハレルト、責任ヲ持ッテ交渉セラレタノデアルカ否ヤト云フ點ヲ尙確カメテ置キタイ

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 私ノ答辯ノ仕方が惡ルカタカモ知リマセヌガ、伊藤統監ハ韓國ヲ代表スルコト云フコトハ申上ゲナイノデアリマス、是ハ先刻述べマシタ通りニ、日本ハ韓國ト共同ノ經營ニ移ル事業デアッテ、而シテ此我法律ニ於テモ、此役員等ハ韓國カラ選ブト云フ途ヲ開イテ置カナケレバナラヌト云フコトヲ直接ニ御答致シタノデアリマス、此韓國ニ於テ果シテ此法律ヲ發表スルノ手續ニ運シテ居リマスカドウカト云フコトハ、是又然リト申上ゲ兼ネルノデアリマス、併ナガラ既ニ此會社ノ目的トスルトコロハ、唯日本國ノ利益ヲ圖ルハカリデナイ、日本人ノ利益ヲ圖ルト云フ目的デナイノデアリマシテ、韓國モ同様非常ナ利益ヲ受ケルノデアル、韓國人モ同様ニ農業ノ改良ノタメニ非常ナ便宜ヲ受ケルコトデアリマスカラ、事柄ニ於テハ固ヨリ韓國ニ於テハ不同意ノアルベキ筈ガアリマセヌ、唯漠然ト此事ヲ申上ゲル譯デアリマセヌ、我日韓協約以後我日本國ノ韓國ニ對スル關係ニ於テ、又統監ノ日本政府ヲ代表シテ、韓國ニ其職務ヲ執ラレテ居ル以上、而モ其條約ニ定ムルトコロニ依ッテ韓國ノ法令ニ付テ、又韓國ノ重要ナル行政處分ニ付テハ、此統監ノ指導統監ノ職權ト云フモノガ認メテアルノデアリマスカラ、此點ニ於テハ決シテ唯日本一方ノミガ定メタノデアッテ、果シテ韓國ガ之ニ應ズルヤ否ヤト云フコトハ不確アルト云フコトハ毛頭考ヘテ居ラヌノデアリマス、必ズ目的ヲ達スルト考ヘテ居リマス

○早速整爾君 大体ノ質問ヲ終ルト云フコトデアリマスカラ、チヨット私ハ確カメテ置キタイと思フ、私が問ント欲シタコロハ、前ノ諸君カラモ御尋デ、政府委員ノ答辯ヲ聽クコトヲ得タノデスガ、尙確メテ置キタイノハ、政府委員ノ御言葉ノ中ニ先刻韓國ノ拓殖ハ誠ニ必要デアルカラ、此事業ヲ進メナケレバナラヌ、兎ニ角私設會社ニ一任シテ置クト云

フコトハ出來ナイカラ、思切ッテ此東洋ノ拓殖會社ノ設定ヲ計畫スルニ至ッタト云フ風ノ意味ノ御言葉ガアッタ、是ガ私設會社ニ一任シテ置クト云フコトハ出來ナイト云フハ、ドウ云フ意味ニナルカ、最前諸君カラ御尋ニナリマシタ如ク、私モ此會社ガ設立セラル、ト云フコトニナリマスレバ、イロ／＼ノ特權ヲ有ッテ居ル上カラ申シマシテモ、兎ニ角韓國ニ於ケル拓殖ト申シマシテモ、前回ニモイロ／＼疑ガアッタヤウデアリマスガ、營業ノ種類ヲ定メテアル點カラ言フト、イロ／＼ノコトニ成ッテ居リマス、詰リ韓國ニ於ケルコトヲ此會社ガ壟斷シテ、幾ノ獨占ノ弊ニ陥ルデアラウト云フコトヲ疑ッテ居ルノデアルガ、個人并ニ私設ノ會社ナドノ仕事ニ一任スルコトガ出來ナイト云フ政府ノ公言デアリマスレバ、ドウモ拓殖會社デ以テ朝鮮ノ事業ヲ壟斷スルノガ利益デアルト云フ御認メニナッタノデアリマセウカト云フ疑ヲ抱クノデアリマス、先刻ヨリ壟斷スルト云フノハ、此會社ノ目的デハナイト云フ御答デアッテ、ソレヲ目的トシテ設立セラル、會社デモアリマスマイガ、併シス様ナル組織ノ會社ガ出來マスレバ、勢ヒ壟斷ノ弊ニ陥ルト云フコトヲ疑フノデアリマスガ、政府ハ壟斷ノ弊ニ陥ルト云フコトハ無イト云フ御見込デアルカラ、縱シ是ガ獨占ノ弊ニ陥ルコトガナイニシテモ、ソレガヤハリ韓國ノ拓殖ヲ進ムル上ニ付テハ、將來私ノ事業并ニ私設會社ノ事業ニ打撃ヲ加ヘナイデ、少シモ差支ナイト云フ御考デアルカ、或ハ此會社ガ出來テモ、一私人ノ事業並ニ既設會社ノ事業ニ對シテ打撃ヲ加ヘルコトガナイト云フ御見込デアリマスカ、此點ヲ確カメテ置キタイ、將來ノミナラズ今日既ニ朝鮮ニ於テ日本國民ガ仕事ヲシツ、アルト云フコトハ、明カニ分ッテ居ルノデアリマスガ、其仕事ヲシツ、アル者ニ對シテ打撃ヲ加ヘルト云フコトニ成リマスレバ、韓國ニ於ケル本邦人ノ事業ヲナス上ニ非常ニ不利デアル、此會社ガ設ケラル、タメニ不利デアル、其不利益ヲ忍デモヤラナケレバナラヌ、斯様ナ弊ハナイト云フ御見込デ、設立ヲセラル、ノデアルカ、前刻私設會社ニ一任スルコトハ出來ナイト云フ語氣ガアリマシタカラ、此點ヲ一應確メマス

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 私設會社ニ一任スル譯ニ往カヌト云フコトヲ他ノ政府委員カラ述べマシタサウデゴザイマスガ、其趣意ハ是モ一ツノ私設會社デアリマス、唯此會社ノ業務ヲ執行スル上ニ於テ、更ニ政府ヨリ保護ヲ與ヘルト云フコトモナシ、特權ヲ與ヘルト云フコトモセズシテ、自ラ目下ノ急務ナリト認メテ居ルトコロノ此目的ガ、果シテ個人ノ純然タル私立會社ニ依ッテ達セラル、ヤ否ヤト云フコトハ問題デアラウト思ヒマス、此會社モヤハリ一ツノ營利ノ目的トスル會社デアッテ、此目的ニ於テ可ナル以上、而シテ其成立ツヤ此或ハ一定ノ年限リ經テ後ニ於テハ、相當ノ收益ハ有ル見込デアリマスカレドモ、併ナガラ何分外國ニ於テ此事業ヲ經營スルノデアリマスカラ、今日此ノ如キ大資本ヲ投ジテ此ノ如キ事業ヲ營ムコトガ、政府ノ保護無クシテハ、到底其目的ヲ達スルコトハ出來マイ、此ニ於テ純然タル私設會社ト云フモノニセズニ、即チ政府ヨリ特別ノ保護特權ヲ與ヘルコトヲ必要ト認メタノデアリマス、定メテサウ云フ意味ニ於テ御答致シタノデアラウト思ヒマス、ソレカラ此會社ガ一度設立セラレタナラバ韓國ニ於テ我日本人ガ他日經營スル事業ヲ盡ク奪ッテシマフ、即チ此會社ガ壟斷シテシマフト云フコトハアルマイカ、是ハ先刻モ御答致シマシタ通り、政府ノ見ルトコロ、又此法案ニ現ハレテ居ルトコロノ目的カラ立論シテ決シテ此會社ガ農業ノ全部ヲヤル、水産鑛業

其他御法文ニ認メテアルトコロノ業務ノコトハ、韓國ノモノヲ盡ク營ムト云フ譯デハアリ
マセヌカラ、決シテ壟斷ト云フコトハナイノデアリマス、併ナガラ若シ此會社ガ設立セラレ
タ其結果トシテ、幾分此私設會社ガヤルカモ知レヌト云フ業務ヲ、此會社ガ營ムト云フ
コトニナルカモ知レマセヌ、ソレハ自然ノ結果已ムヲ得ヌノデ、又此韓國ノ拓殖ヲ目下ノ
急務トスル以上、此ノ如キ特權ヲ與ヘ、此ノ如キ保護ノ下ニ設立スル以上、幾分民業
ニ影響スルコトガアツテモ已ムヲ得ヌトコロノモノデアルト云ハナケレバナラヌト思フ

○委員長(改野耕三君) ドウデスカ一應御相談シマスガ、委員長ノ見込デハ午後モ
引續イテヤリタイト思ヒマスガ、諸君ハ御差支ハアリマセヌカ、遞信大臣ノ何カアリマスガ
〔午後モヤリマセウ〕ト呼フ者アリ

○委員長(改野耕三君) 兎三角午後モ暫ク質問ヲヤラウデヤアリマセヌカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(改野耕三君) ソレデハ一時カラ會ヲ開キマシテ、是デ休憩致シマス
午後零時六分散會

明治四十一年三月二十一日印刷

明治四十一年三月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局